

授業科目名	【G】 【EF】	憲法(人権)Ⅱ 憲法(人権)Ⅱ	区分 選択	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	基本的人権各論			担当者	小林 伸一		
授業概要	【概要】	日本国憲法15条から40条までに保障されている人権について、通説的な学説に即して講述する。					
	【到達目標】	主要な人権の具体的内容と限界(人権規制立法に対する違憲審査基準)を修得する。					
履修条件	本講義は、受講生全員が憲法概論の単位を取得していること、並びに憲法人権Ⅰの単位を取得していることの2点を前提に進める。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	— (当てはまらない)					
他科目との関連性	本講義は、憲法(人権)Ⅰの応用編である。また、本講義では、各人権の規制立法に対する違憲審査基準にも比重を置くため、81条所定の違憲立法審査制について詳説する憲法(統治)Ⅱと密接に関連する。						
教科書	芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法 第七版』(岩波書店2019年) 適宜、Google Classroom上に講義レジュメを提示する。						
参考書	高橋和之著『立憲主義と日本国憲法第5版』(有斐閣 2020年) 宍戸常寿・巻美矢記・安西文雄著『憲法学読本 第3版』(有斐閣 2018年)						
評価方法	2回にわたる課題及び2回の中間テストに対する解答の成績を基に評価する。						
フィードバック方法	中間テストには毎回、模範解答を提示する。また、節目節目で講義内容に対する質問や意見を受け付け、これに回答する。						
評価基準	本講の趣旨・内容を十二分に理解し、そのことが課題、中間テストに対する解答に顕著に表れている受講生は、「S」または「A」とする。講義内容についての理解が必ずしも十分とはいえず、しかも解答の表現が的確とはいえない受講生は、その程度に応じて、「B」または「C」とする。講義内容に対する理解が明らかに不十分で、しかもそのことが解答の内容・表現に如実に表れている受講生は、その程度に応じて、「D」または「E」とする。正当な理由なく解答未提出の受講生は、「F」とする。						
その他	受講生は、Googleclassroom上に提示される講義レジュメや資料をダウンロードしプリントアウトできるようネット環境を整えること。予習・復習は、各120分程度を目安としてください。						

授業 科目名	【G】	憲法(人権)Ⅱ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【EF】	憲法(人権)Ⅱ	選 択		【EF】2		【EF】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス 憲法(人権)Ⅰの復習と補完						
	予習:	憲法(人権)Ⅰの講述内容の復習		復習:	憲法(人権)の講述内容の再確認		
2	思想及び良心の自由						
	予習:	154頁～158頁		復習:	内心の自由 沈黙の自由 君が代起立斉唱拒否事件		
3	信教の自由						
	予習:	158頁～164頁		復習:	信仰の自由 宗教的行為の自由 間接的制約 剣道実技拒否事件		
4	政教分離原則						
	予習:	164頁～173頁		復習:	目的効果基準 津地鎮祭事件		
5	表現の自由その1(表現の自由の価値 報道の自由 取材の自由 博多駅テレビフィルム事件)						
	予習:	180頁～202頁		復習:	表現の自由の価値 報道の自由 取材の自由 博多駅テレビフィルム事件		
6	表現の自由その2(内容規制・内容中立規制 事前抑制の理論 明確性の理論 LRAの基準)						
	予習:	202頁～222頁		復習:	内容規制・内容中立規制 事前抑制の理論 明確性の理論 LRAの基準		
7	職業選択の自由						
	予習:	233頁～239頁		復習:	規制目的二分論 小売市場事件 薬事法事件		
8	財産権						
	予習:	242頁～250頁		復習:	生産手段の私有制 森林法事件 完全補償説		
9	刑事手続き上の人権その1(適正手続き 第三者所有物没収事件 徳島市公安条例事件)						
	予習:	251頁～255頁		復習:	適正手続き 第三者所有物没収事件 徳島市公安条例事件		
10	刑事手続き上の人権その2(不当な逮捕からの自由 住居等の不可侵 一事不再理 二重の危険)						
	予習:	255頁～265頁		復習:	不当な逮捕からの自由 住居等の不可侵 一事不再理 二重の危険		
11	国務請求権						
	予習:	266頁～269頁		復習:	裁判を受ける権利 訴訟事件の裁判 非訟手続による審判		
12	参政権						
	予習:	270頁～276頁		復習:	選挙権に関する二元説 普通選挙 平等選挙		
13	生存権						
	予習:	277頁～281頁		復習:	プログラム規定説 抽象的権利説 朝日訴訟 堀木訴訟		
14	教育を受ける権利						
	予習:	283頁～286頁		復習:	国家教育権説 国民教育権説 旭川学力テスト事件		
15	労働基本権						
	予習:	286頁～294頁		復習:	公務員の争議行為・政治的活動 全農林警職法事件 猿払事件		

科目コード B211-3-X